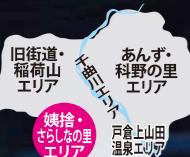


# 姨捨・さらしなの里

## 月の都 千曲 棚田と善光寺平の絶景

幻想的な景色が人々を魅了し続ける姨捨の棚田。古今和歌集に姨捨の景観と月の歌が残っていることは、いかにこの風景が古くから愛されてきたかを物語っています。「田毎の月」で知られる姨捨は国の名勝に指定されています。また、重要文化的景観にも選定され、季節や時間で姿を変える風景は日本の原風景を想わせ、素朴な感動を与えてくれます。



### 姨捨山伝説

この辺りには、姨捨の山に捨てた男性が、名月を見て後悔に耐えられずに連れ帰ったという逸話があり、「大和物語」や「今昔物語集」などにも掲載されている。さらに連れ帰りを隠していた姨捨の知恵によって、殿様の出す難題を解決。その後、老人を大切にしたと伝えられている。



善光寺平の絶景

眺めるだけで満足  
みんなが見たい  
千曲の絶景

みんなが選んだ  
日本の景色

- 姨捨からの風景は、一見の価値あり!  
たくさんの「見たい!」に選ばれています。
- ◆日本棚田百選／姨捨地域
  - ◆日本三大車窓／姨捨駅
  - ◆日本三大名月／姨捨地域
  - ◆足を延ばして訪れてみたい駅 姨捨駅(第2位)  
(日本経済新聞社の2007年アンケート)
  - ◆国の名勝／姨捨(田毎の月)
  - ◆日本夜景百選／姨捨サービスエリアからの景色
  - ◆国の重要文化的景観／姨捨の棚田



日本の名勝 田毎の月

平安時代から月の名所として知られた姨捨  
「田毎の月」は水を張った時期にしか見られない  
初夏の幻想的な風景

水を張った田んぼに月が映る、昔とかわらない美しい景色。

歌にも詠まれた田毎の月

平安時代の頃から姨捨は観月の名所として知られ、古今和歌集にも詠まれた場所。江戸時代から明治にかけて開田が大きく進み斜面に並ぶ不規則な形の田んぼに映る月が移りゆくことを「田毎の月」と言い表し、姨捨の田毎の月は松尾芭蕉や小林一茶など多くの俳人が訪れ、俳句の題材にもなっている。(田毎の月:5月下旬~6月上旬)



### 浮世絵に描かれた名所

歌川広重作「更科田毎月鏡台山」(千曲市教育委員会提供)  
棚田ひとつひとつに月が映るさまを描いたこの浮世絵によって姨捨の地は有名になった。



### 四十八枚田 しじゅうはちまいだ

阿弥陀の四十八願に由来するという四十八枚田は一反歩(300坪)を48枚に分けた棚田。四十八枚田地区は姨捨の名勝指定地区の一つ。

### 主なイベント

※日程等変更となる場合がございます。



#### 仲秋祭

近在の獅子舞神楽が奉納され、仕掛け花火も披露される。

- 開催日 / 9月14日
- 場所 / 武水別神社
- お問合せ / 武水別神社 026-272-1144



#### 信州さらしなおばすて観月祭

長楽寺を中心に、中秋の名月にちなんだイベントを開催。

- 期間 / 10月の最終日曜日
- 場所 / 姨捨地区一帯
- お問合せ / 信州千曲観光局 026-261-0300



#### 千曲菊花展

特設花壇に愛好家が丹誠込めた菊花を展示。

- 期間 / 10月下旬~11月中旬
- 場所 / 姨捨駅前
- お問合せ / 千曲商工会議所 026-272-3223



#### さらしなの里縄文まつり

縄文時代にタイムスリップ! 楽しいイベントがいっぱい。

- 開催日 / 10月の最終日曜日
- 場所 / 姨捨駅前
- お問合せ / ららしあの里歴史資料館 026-276-7511



#### 大頭祭(選択無形民俗文化財)

400年以上の歴史を持つ、五穀豊穣に感謝する新嘗祭。

- 期間 / 12月10日~14日
- 場所 / 武水別神社
- お問合せ / 武水別神社 026-272-1144